

# 常盤中だより



学校教育目標

「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



## 「目が前についてるのはなぜ？」

校長 山下 誠二

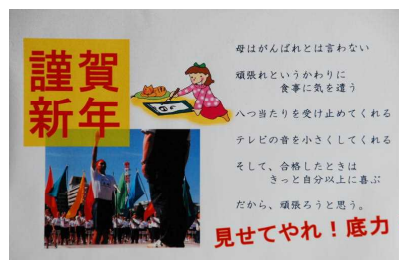


新年、あけましておめでとうございます。  
謹んで年頭のご挨拶を申し上げ、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

本年も「さわやかなあいさつ」「校歌を大切にしっかり歌う」「靴のかかとを揃える」の行動目標をもとに、「元気に登校」「笑顔で下校」できる生徒の育成に取り組んでまいります。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、ドラえもんのお話です。のび太くんがテストでよい点を取れずに落ち込んで、とぼとぼ歩いている時のこと。見かねた担任の先生が、のび太くんにこんなことを言いました。「目が前についているのはなぜだと思っ？前へ前へと進むためだ！過ぎたことにくよくよせず、前向きに頑張りなさい。」この言葉に大変感動したのび太君は、この感動を誰かに伝えたくて仕方ありません。しずかちゃんに得意げに話しました。「しずかちゃん、目が前についているのはなぜでしょう？」突然、のび太君に難しい質問をされて、しずかちゃんはこう答えました。「決まっているわ、目が後ろについていたら髪の毛が邪魔なもの。」！！優等生のしずかちゃんにしては、少し変わった答えでした。さて、このことについて、もう一度しっかり考えてみましょう。なぜ、目は前についているのでしょうか？ライオンなどの獲物を捕える必要がある肉食の動物は、獲物までの距離を測るために、目が二つ前に付いています。逆に、キリンなどの草食の動物は、敵が近づいてくるのを素早く知るために、目が一つずつ顔の左右の両側についています。このような、生物学的な見方がありますが、のび太君の担任の先生は、「失敗してしまったことをいつまでも悔やんでいないで、物事を前向きに考えなさい。それは、結果として、今後の出来事がいい方向へつながっていく。」と伝えたかったのです。不思議なことに、前向きにものごとを考えていると、色々なことが良い方向へ進んでいきます。逆に、自分はもうダメだと、思い悩んで、後ろ向きな気持ちでいると、よくないことが次々に起きてしまうことがよくあります。少なくともライオンなどの肉食の動物は、逃げるために目が前に二つについているのではありません。目の前のつかまえるべき獲物をねらうために、目が前についているのです。私たち人間は生まれつき目が前についています。どんな困難に見舞われても、どんな悲しみにおそわれても、私たちは、生まれついて、前に進むために生まれてきたのです。

東日本大震災や昨年熊本地震で被災した方々も、苦勞を乗り越え、今は前向きな考えをもち、新しい生活に向かって立ち上がっている様子がテレビで紹介されています。常盤中学校も70周年を機に「伝統を誇りに 常盤のみどり 新たな一歩へ」のスローガンのもと、しっかり前を向いて地道に一步一步進んで参ります。



〈昇降口の掲示物より〉

